



個人投資家説明会

株式会社オプトラン
2023年9月3日



1 会社概要

2 光学薄膜技術

3 オプトランの強み・成長戦略

4 株主還元



会社概要

設立	1999年8月25日 創業24年
代表者	代表取締役社長 範 寶
資本金	4億円
本社	埼玉県鶴ヶ島市富士見6-1-1
技術開発センター	埼玉県川越市竹野10-1
上場	東証プライム（証券コード:6235）



さらなる事業基盤拡充を目的に、2023年8月に本社機能を埼玉県鶴ヶ島市に移転



売上高

2022年12月期実績

343億円

前年同期比11.0%増加



営業利益

2022年12月期実績

74億円

前年同期比6.0%増加



総資産

2022年12月期実績

829億円



ROE

2022年12月期実績

14.0%



グループ 従業員数

607名

(2022年12月末時点)

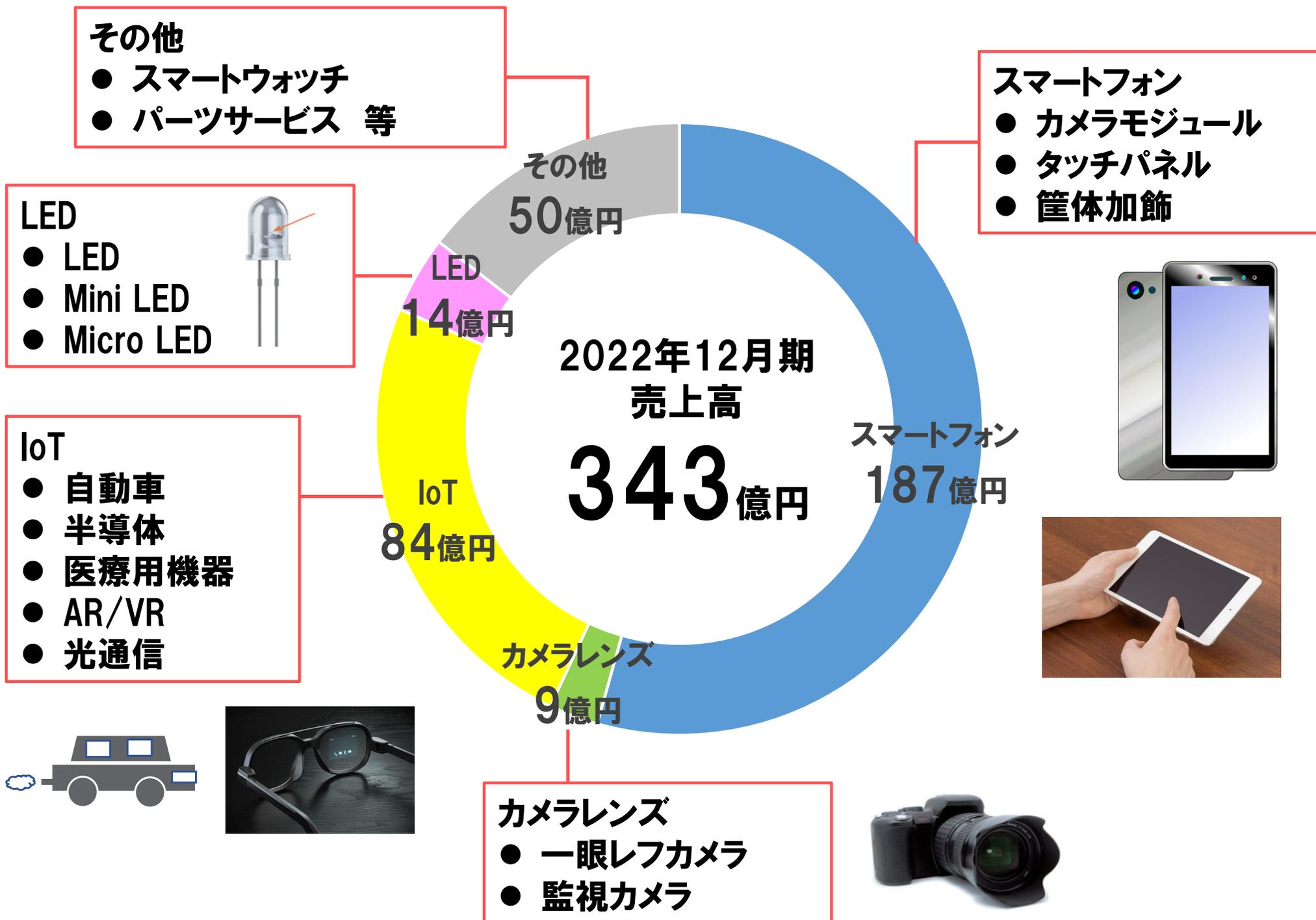


時価総額

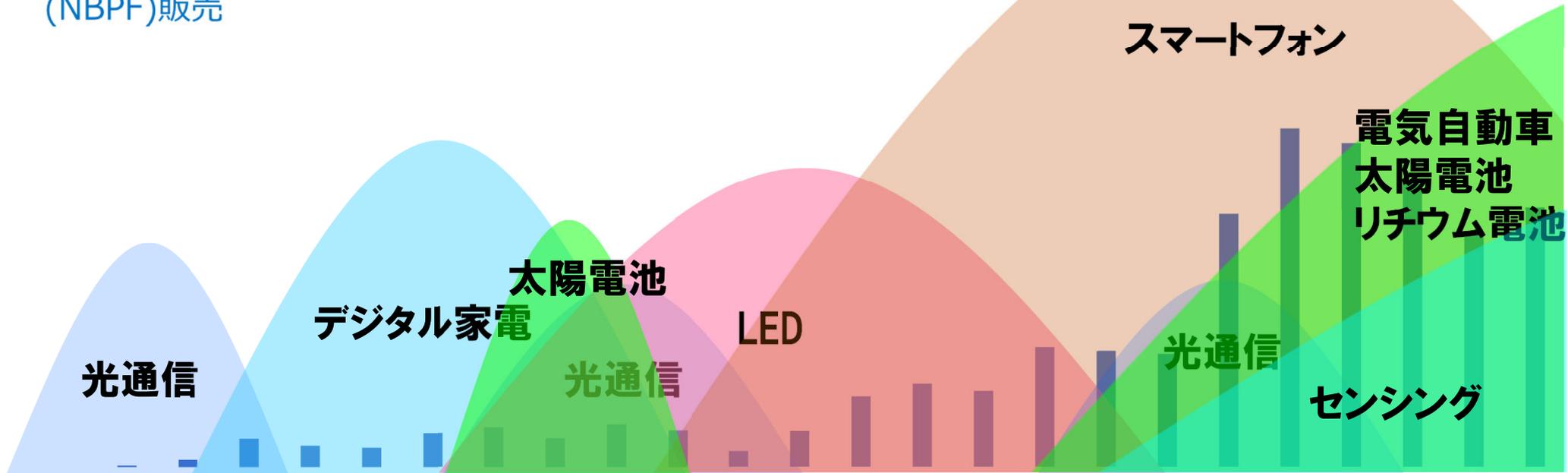
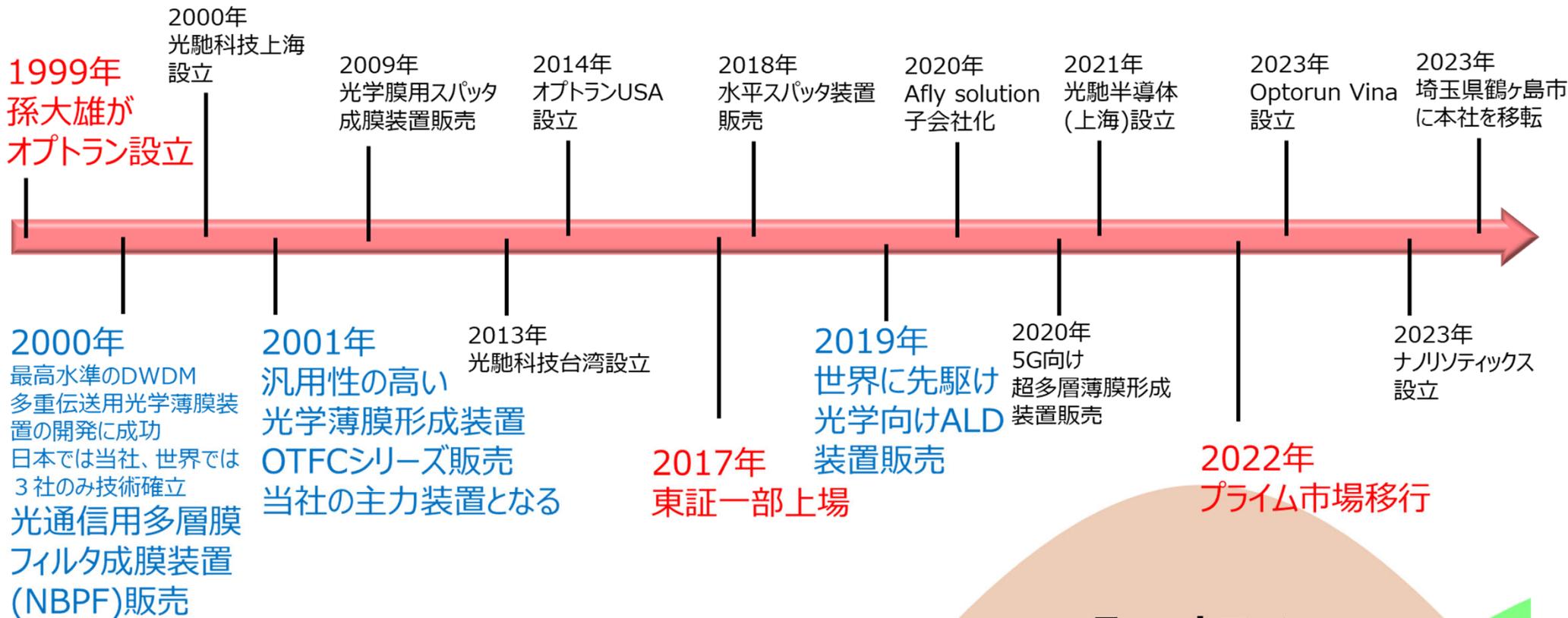
816億円

(2023年8月25日時点)

分野別売上構成



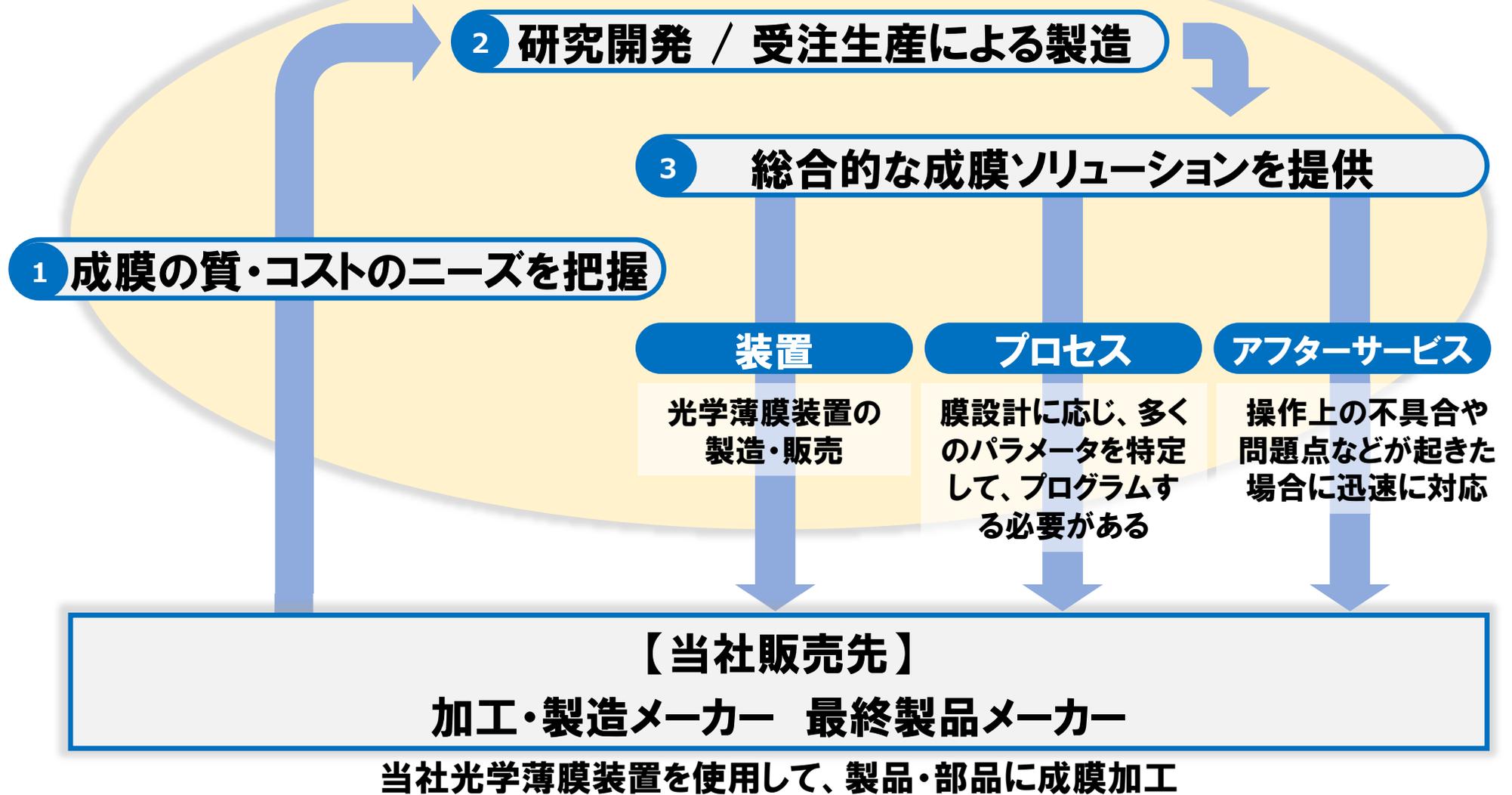
沿革



グローバルネットワーク



アジアを中心にグローバル8拠点展開



成膜ソリューション提供モデル



光学薄膜技術



光の性質を巧みに利用して、光の反射や透過などをコントロールする技術

↓ 表面に
薄膜を形成

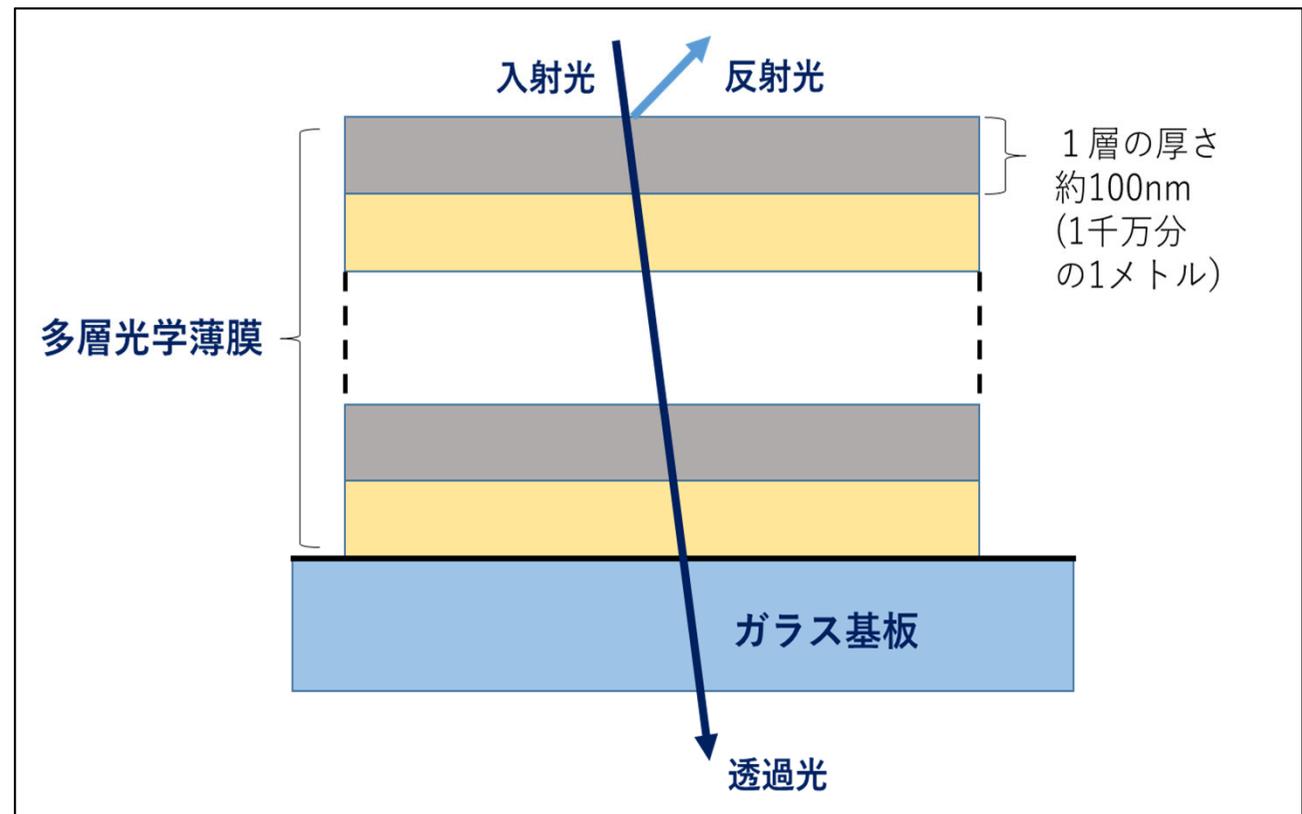
ガラス・樹脂・金属など

光学薄膜例

- 反射防止膜
- 増反射膜
- 波長選択フィルタ
 - バンドパスフィルタ
 - 赤外カットフィルタ
- 加飾膜（カラー膜）

薄膜例

- 透明導電膜
- 防汚膜
- 傷防止膜

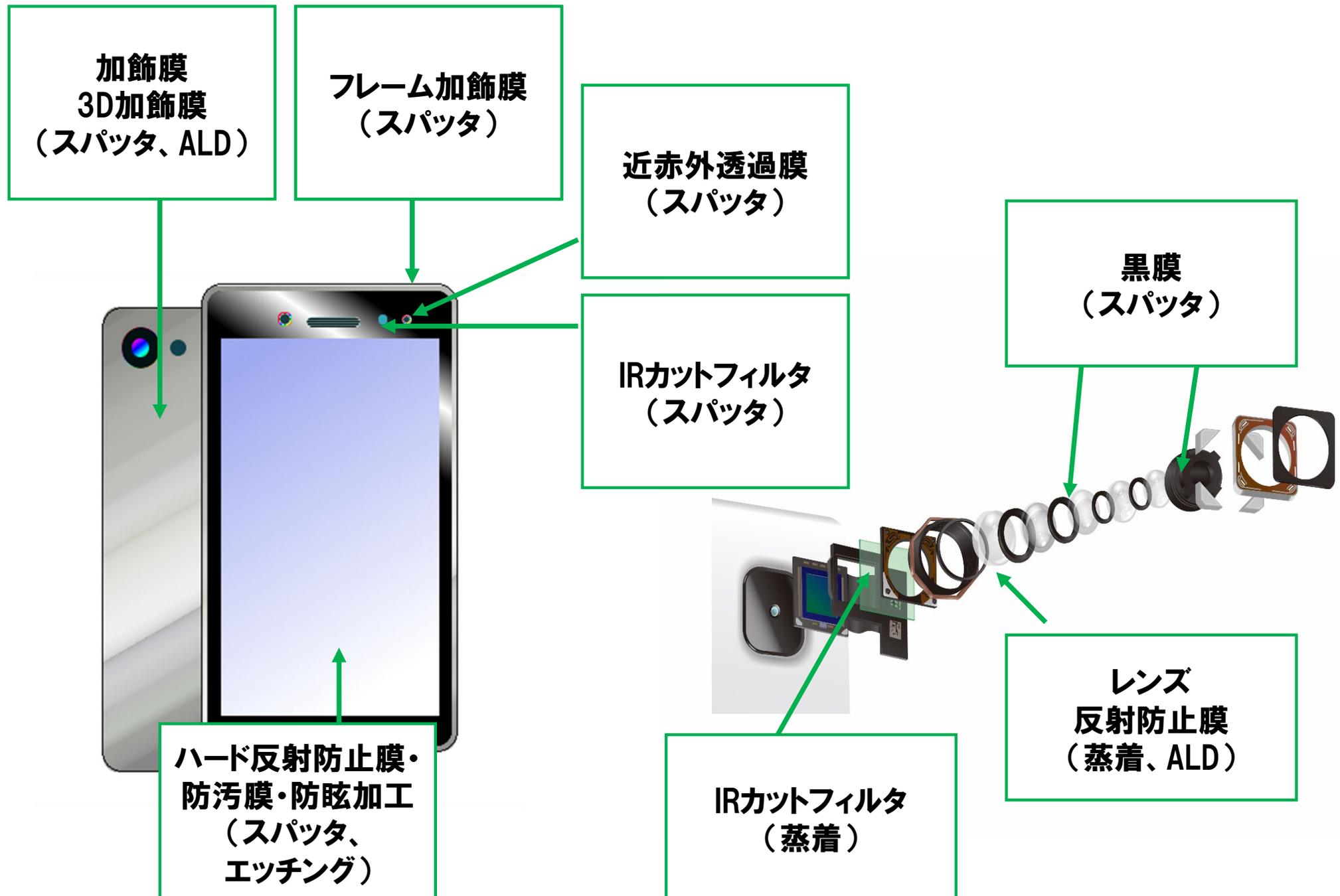


身近に存在する光学薄膜

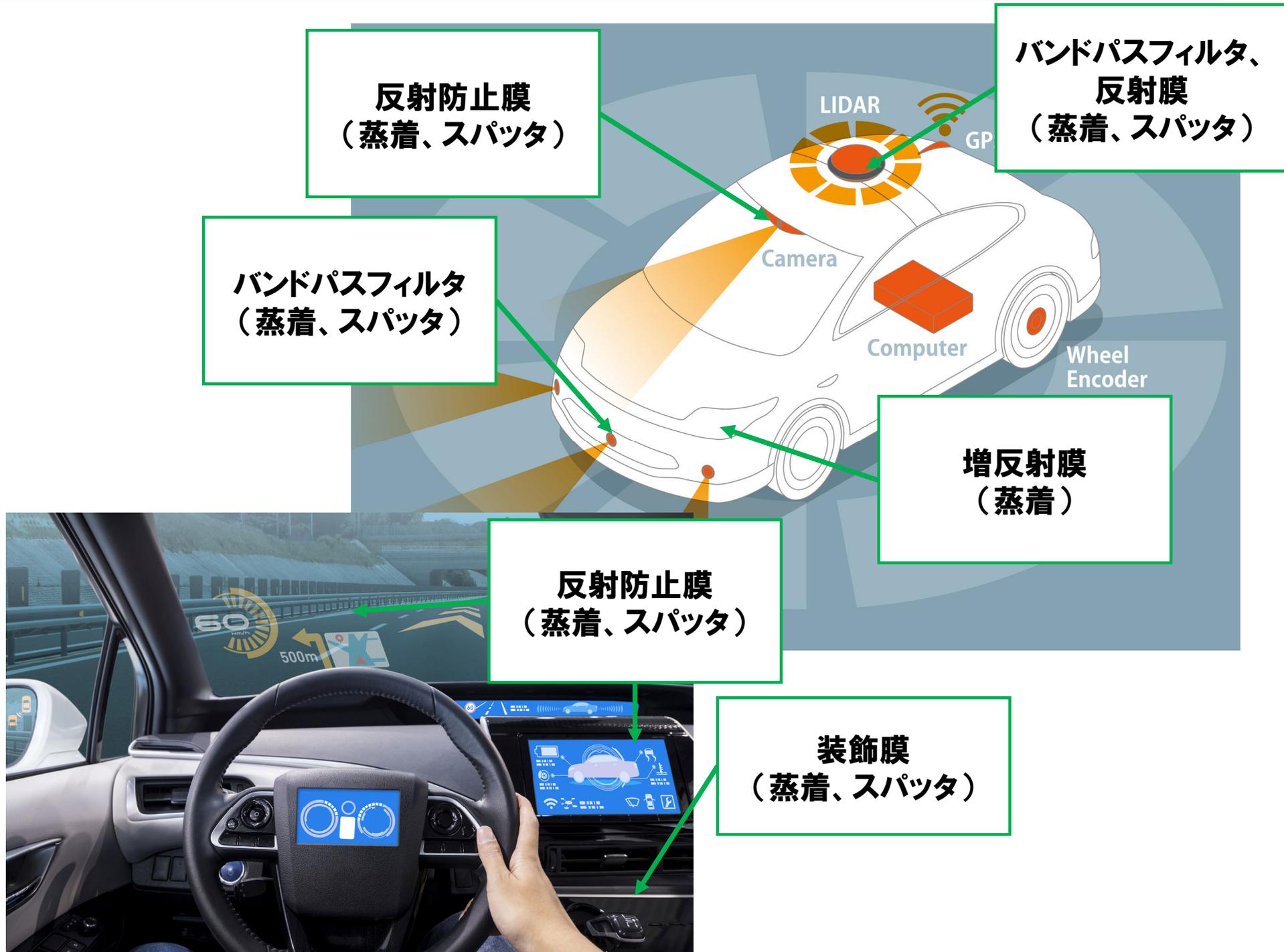


目には見えないけど、あなたに身近な光学薄膜

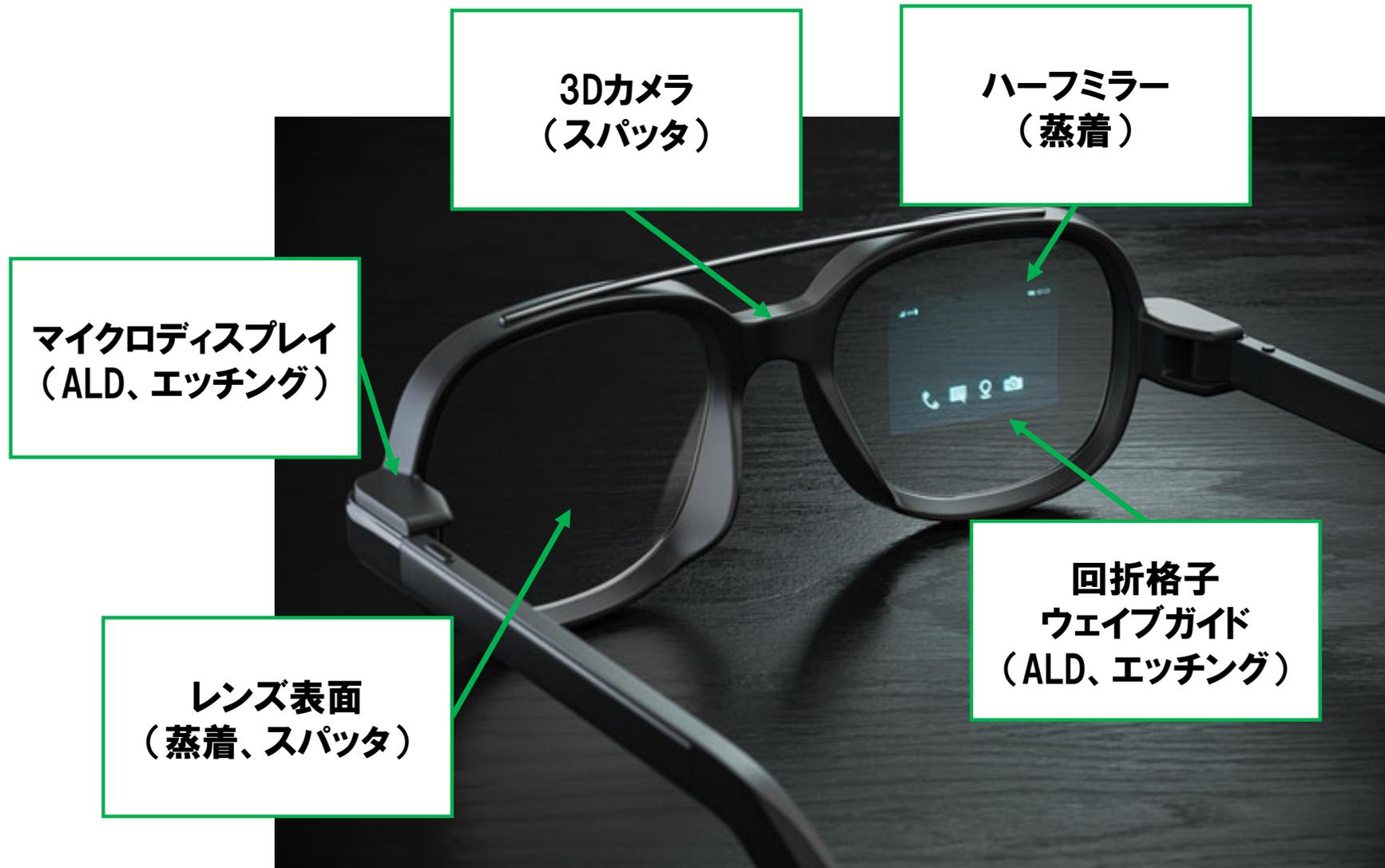
成膜例 スマートフォン



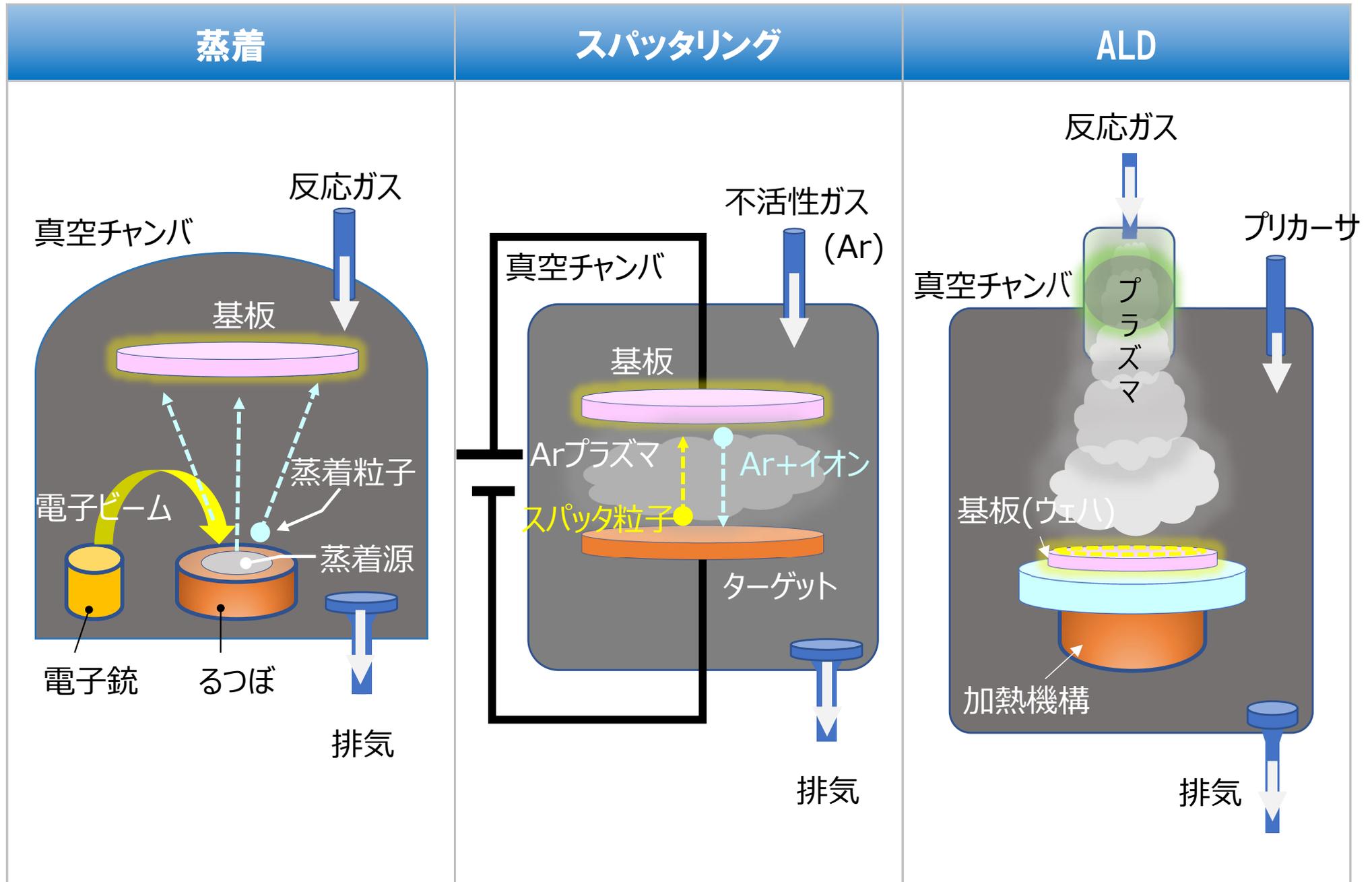
成膜例 自動車

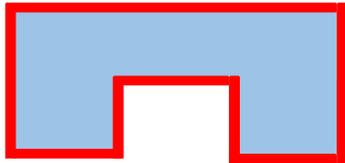
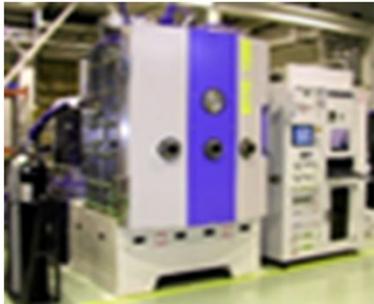


成膜例 AR/VR



成膜方式



成膜方式	イオンビームアシスト蒸着	スパッタリング	ALD
3D対応 (複雑形状成膜対応)	低△ 	低△ 	高◎ 
多層膜対応性	高◎	高◎	低△
ランニングコスト	低◎	高△	高△
導入コスト	低◎	高△	高△
主要装置	OTFC 	NSC 	ALDER 



オプトランの強み・成長戦略

装置・技術

- ① 最先端技術に基づく高難易度の装置
- ② 重要部品は自社開発



プロセス

- ① 光学薄膜の設計能力
- ② 顧客による成膜条件設定に必要なノウハウの蓄積



顧客

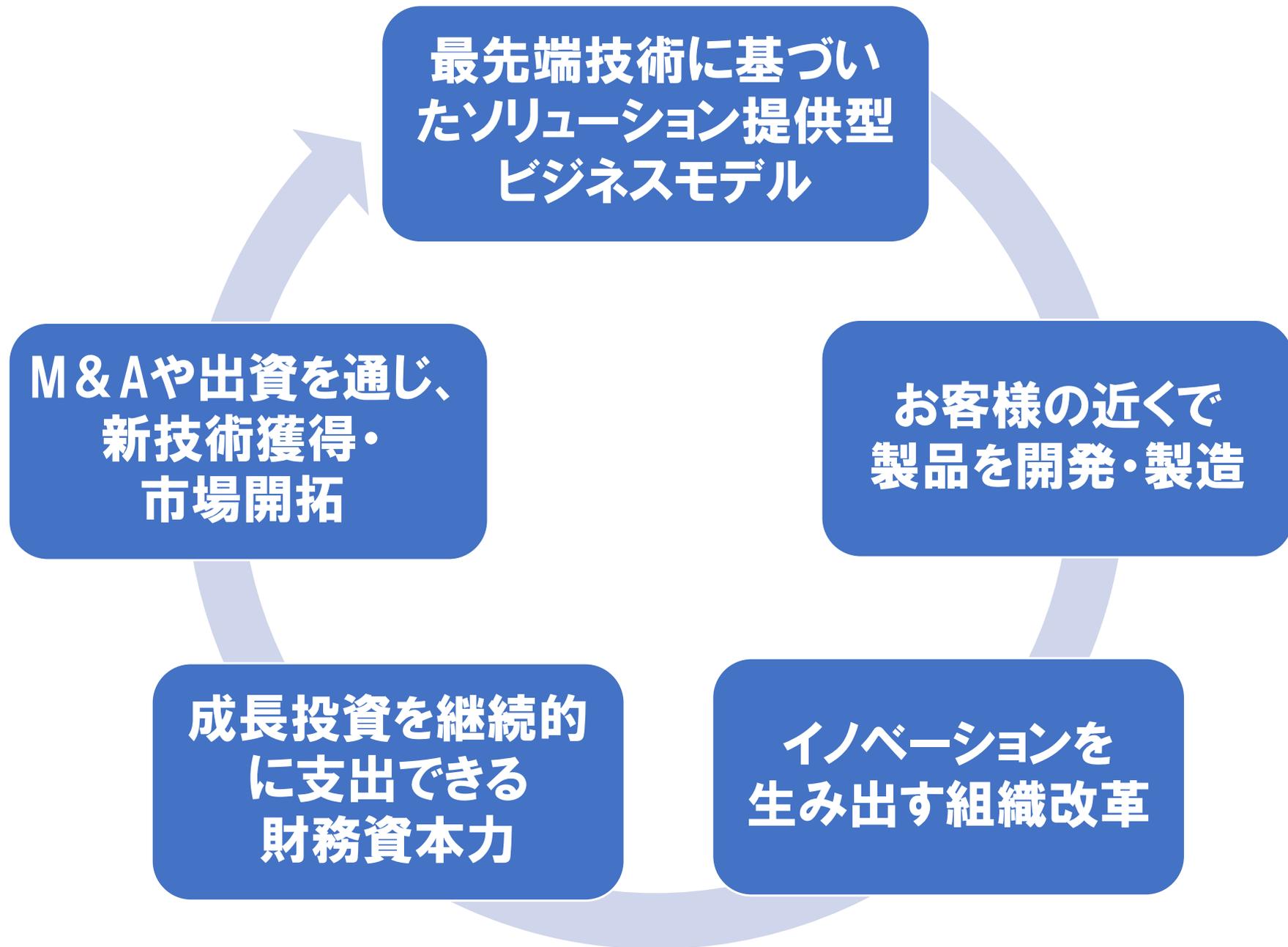
- ① 顧客が多い東アジア・米国を中心に事業展開
- ② 顧客との共同研究開発を通じた新型製品開発

グローバルな研究開発活動

最先端技術に基づいたソリューション提供力

新たな市場を持続的に創造・拡大

オプトランの強み -企業価値向上サイクル-



光学

半導体光学融合

電子デバイス

■光学部品

- ・装飾膜・レンズ・ミラー
- ・光学フィルタ



■Smart Phone

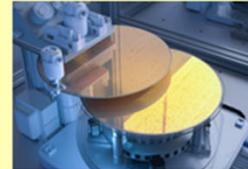
- ・カメラモジュール・筐体
- ・ディスプレイ・光学センサ



■自動車

- ・インストルメントパネル
- ・ADAS・ディスプレイ・センサ

■イメージセンサ



■AR/VR Device

- ・スマートグラス
- ・ヘッドマウントディスプレイ



■光電子

- ・Mini LED
- ・Micro LED
- ・LD/VCSEL

■新エネルギー

- ・太陽電池
- ・リチウム電池
- ・パワーデバイス

■通信 Device

- ・BAW/SAW
- ・RF Device



■MEMS Device

- ・マイクロミラー
- ・ジャイロスコープ
- ・加速度センサ

「光学」領域をベースに
「半導体光学融合」・「電子デバイス」領域へ
事業領域を拡大



- 光学設計
- 成膜技術
(スパッタ・蒸着・ALD)
- ドライエッチング



AI MECHATEC

- インクジェット
- ナノインプリント
- 精密位置合わせ



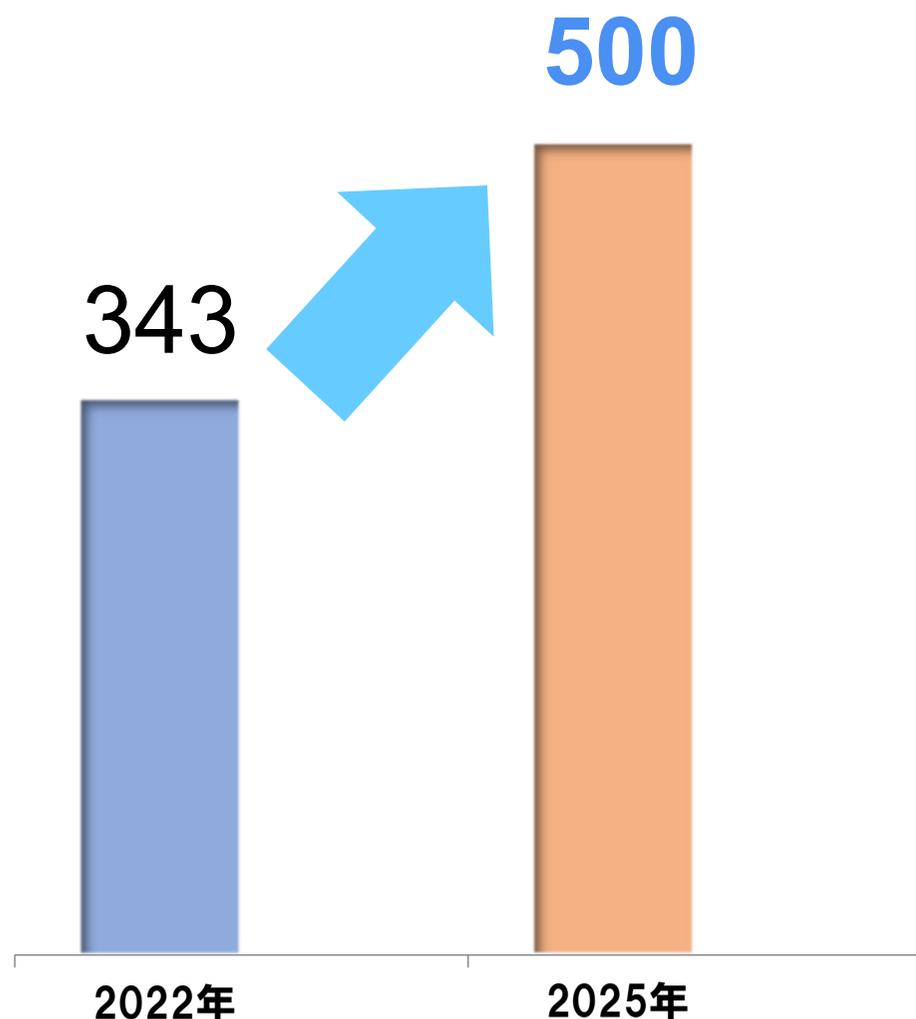
NANO-LITHOTICS
TECHNOLOGIES

ナノリソティックス(合併会社)

最先端表面処理技術で市場をリード

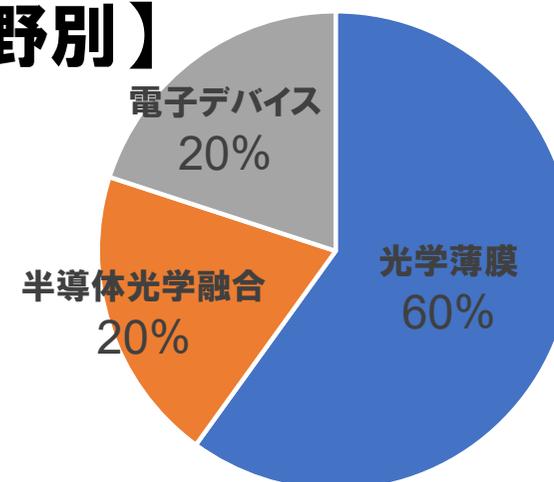
成長戦略 - 中期売上高目標 -

- 2025年売上高500億円目標
- 半導体光学融合領域や電子デバイス領域を新たな成長分野と位置付け、業界グローバルリーダーとして市場を牽引

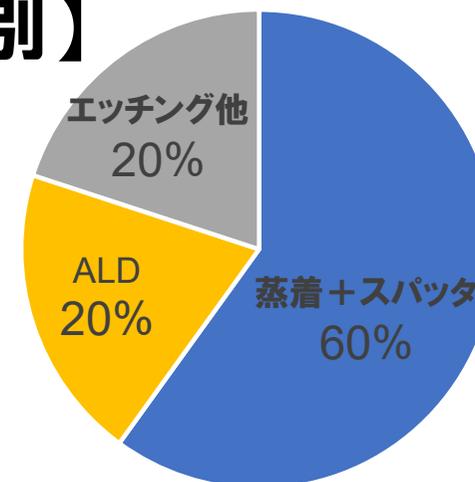


売上構成イメージ

【分野別】



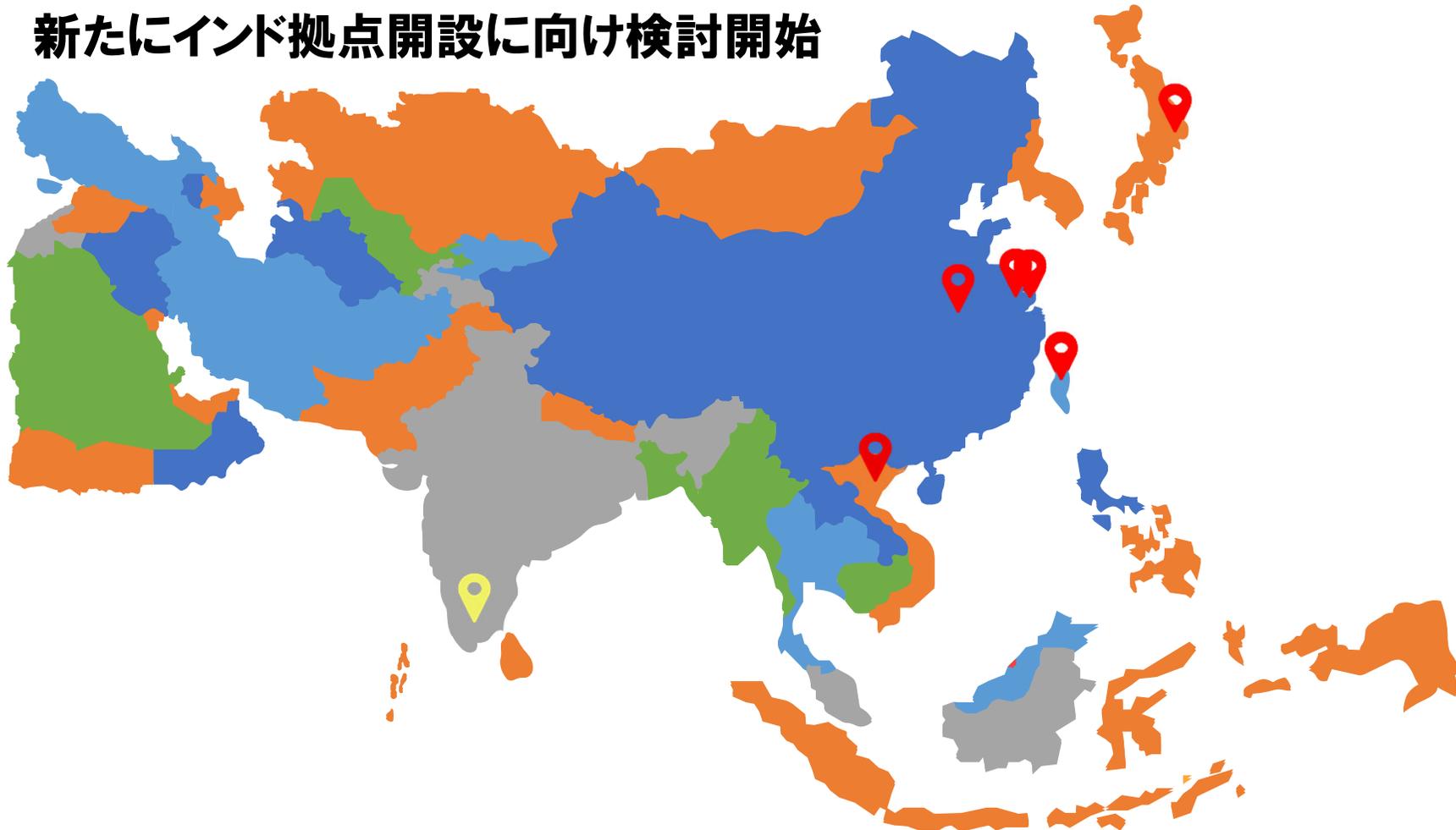
【装置別】



成長戦略 -バリューチェーン変化への対応-

地政学リスク回避、サプライチェーン安定化のため、当社グループは以下の取り組みを通じ、バリューチェーン変化に対応する

- 「地産地消」、中国向け販売装置は、中国で生産
- 半導体光学融合用高性能精密装置を日本及び台湾拠点の生産強化
- 2023年7月にベトナム拠点新設し、東南アジアの市場展開を強化
- 新たにインド拠点開設に向け検討開始



環境

地球環境保全

- ・環境に配慮した部品の積極調達
- ・工業廃水処理の徹底と節水
- ・排ガス処理と管理の徹底
- ・廃棄物削減、リサイクルの推進
- ・省エネ化・省資源化に向けた製品開発

<対応するSDGs項目>



ガバナンス

適切な管理

- ・コーポレートガバナンス
- ・コンプライアンス
- ・リスクマネジメント

<対応するSDGs項目>



社会

生活をより豊かにするための技術貢献

【成膜例】

- ・スマートフォンの生体認証、タッチパネル、筐体保護
- ・光通信の情報伝達に不可欠なDWDMフィルタ
- ・自動車のインストゥルメンタルパネル
- ・LEDの輝度向上・省電力化
- ・AR/VRデバイスの反射防止・筐体保護

企業活性化

- ・性別・国籍を問わない人材活用
- ・多様な社員構成のグローバル展開
- ・社員モチベーション向上への取り組み
- ・労働安全衛生

人々の健康や安心につながる技術貢献

【成膜例】

- ・監視カメラ内レンズ・フィルタやセキュリティ向け生体認証
- ・自動車の自動運転技術に用いられるセンサー等のデバイス
- ・X線撮影装置
- ・バイオセンサーの研究支援と貢献

<対応するSDGs項目>



<対応するSDGs項目>



持続可能な未来を目指す



株主還元



**将来の成長に
向けた投資**

**最先端分野への研究開発投資・設備投資、
事業規模拡大・技術獲得等のM&Aや他社
との事業連携等の成長投資へ振り向ける**

配当

**連結配当性向30%程度を目安
安定的な配当を目指す**

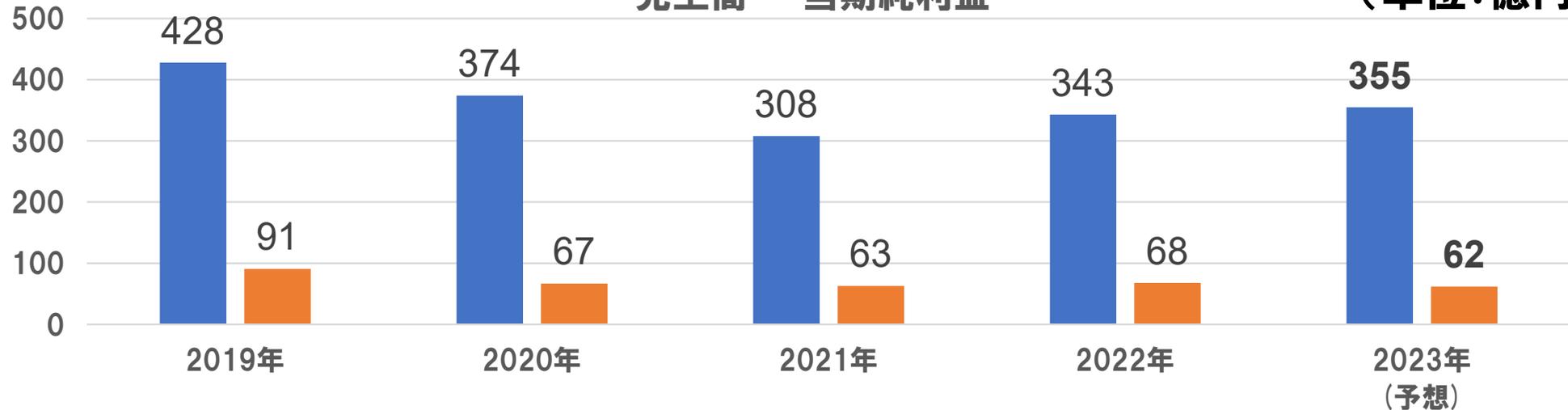
**利益配分の優先順位は、
将来の成長に向けた投資、配当の順で実施**

株主還元



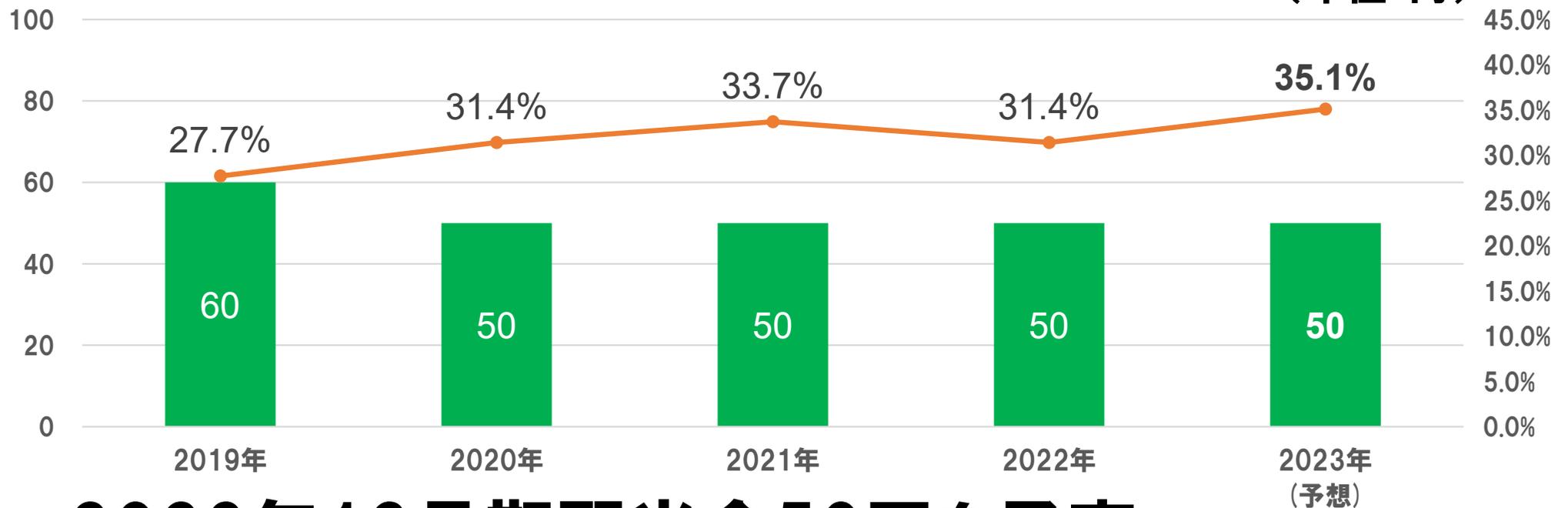
■ 売上高 ■ 当期純利益

(単位:億円)



■ 1株あたり配当金 ● 配当性向

(単位:円)



2023年12月期配当金50円を予定

当資料に記載された内容は、2023年8月25日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

【問合せ先】

E-mail: ir-info@optorun.co.jp TEL: 049-299-8199

